



「ごみ問題」を考える

〈 深掘り・探究テーマ 〉

1 なごやでは顕在化していない「ごみ問題」

ごみ減量が「ごみ問題」としてクローズアップされるなごやですが、それとは違う「ごみ問題」が各地でしばしば起きています。

かつて「東京ごみ戦争」と呼ばれた問題を調べてみましょう。

また、藤前干潟の埋め立てを断念した名古屋市では、同様の問題は起きなかったのでしょうか。調べてみましょう。



〈 どう考える? 〉

2 ごみの焼却、どう思う?

ごみを燃やして、可燃ごみとして処理をすることは衛生面から考えると優れています。

発電機を備えた焼却場であれば、燃やした量が多いほど発電し電気回収もできるため、よいことにも思えますが、みなさんの意見はいかがでしょうか?



考察のエッセンス

- ダイオキシンを知っていますか?
人体にも健康被害を及ぼす劇毒物で、平成初期、ごみの焼却が発生の最大原因と言われました。
しかし、その後もごみの焼却は減っていません。
健康に影響を及ぼす化学物質と日常生活のごみ排出という一見かわりがないような話題が、どのような変遷を経ているかを調べてみましょう。
- サーマルリサイクルとも呼ばれるごみ発電事業ですが、どのようなメリットとデメリットがあるのでしょうか?
それらを調べるとともに、サーマルリサイクルに対する世界的な潮流も調べてみましょう。

3 「ごみ問題」の解決のために

1, 2を調べた結果、SDGsを進めていくために、ごみに関して、力を入れていくとよいと思う方策を話し合ってみましょう。